

○事業所名	社会福祉法人大空会児童発達支援なかよし園		
○保護者評価実施期間	令和6年9月24日		～ 令和6年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・情報発信（療育の見える化）を積極的に行い、安心・安全な療育が提供できている。	・なかよし園での日々の様子、療育活動（集団・個別）の内容を、Instagramにて発信を行っている。 ・集団活動、個別活動は、色々な活動内容を提供できるよう、担当制にしている。 ・活動内容については、個別支援計画書や5領域との関連付けを行うことをポイントとして考えるようにしている。	・SNS担当が一人しかおらず、毎日の発信が難しいときがあるが、積極的に更新していきます。（他の仕事との兼ね合い）
2	・地域との交流	・地域のボランティアによる紙芝居、人形劇の開催を定期的におこなっている。 ・地域の会館を活用し、人形劇の開催を行ったり、会館の畑でじゃがいもを植えたり掘ったりする機会がある。	・安全を確保するには、職員の数が必要となるため、日程や場所を調整しながら提供していきます。
3	・活動プログラムが飽きないように工夫していること。	・集団活動（音楽遊び、ミュージックケア、運動遊び、感覚遊び）と個別課題をバランスよくプログラムに組み込み、5領域との関連付けを行った内容を提供している。 ・支援者を担当制にすることで、活動のマンネリ化を防いでいる。 ・夏には、屋上でプール遊び、駅が近い立地を活かし電車やバスを活用した園外保育を積極的に行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士で交流する機会を設けたり、ペアレントトレーニングのような家族支援に対する支援が少ない。	・年に2回程度の保護者会を行っているが、サービス提供時間内での開催となるため、対応職員が抜けたり、現場との兼ね合いや調整が必要となってくる。	・年間計画に組み込み、計画的に開催できるようにしていきます。
2	・質の向上を図るため、研修会の機会や積極的に専門家や専門機関等からの助言を受ける機会が少ない。	・正規職員が個別に研修を受け、研修報告会や資料の回覧を行うことで全職員に対する研修としている。 ・パート職員も多く在籍しているため、研修時間の確保が難しい。	・必要に応じて、外部からの専門家や専門機関等からのアドバイスを頂く。
3			